

## ピナトゥボ活動助成事業

# フィリピン派遣を体験して

協会では、ピナトゥボ活動助成事業を実施しており、フィリピンで支援活動を行っています。以下、平成25年度に派遣した、名古屋工業大学2年 秦野吾朗くんからの報告です。

この春、協会の派遣事業で初めてフィリピンに出かけました。マニラから車で4時間。到着した翌日、ホスト家族の祖母が亡くなり、最初の1週間は通夜と葬儀を体験しました。その1週間で近所に住む親戚の方々と顔を合わせましたが、多すぎて名前を覚えられませんでした。ホストのジェクさんはお母さんが亡くなったのにも関わらず、そのまま僕を受け入れてくれました。

翌週からボランティア活動が始まり、僕は複数の小学校に出向き、生徒達と日本について話し合ったり、遊んだりしました。そこでは、一人一冊ずつ教科書を持てる状況ではなく、また1クラス60人の教室もありました。これでは教育も行き届かないと思いました。貧富の差も激しく、決して裕福とは思えないこの地域でも、町の方では子どもたちがスマホを使い、村の方では裸足で教室に入る。こんなギャップに驚きました。それでも、どの子ども達も真面目に取り組んでくれて、本当にいい子ばかりでした。



小学校で日本語を教えてきました！

小学校での授業は英語を用い、難しい内容のときはタガログ語で補足をするといった感じで行われていますが、5～6年生になると英語だけで話す僕の話を理解し、英語での会話をすることができました。

現地の人々は僕を温かく歓迎してくれ、とても楽しい日々を過ごすことができました。ご飯は手で食べるのが普通で、どの料理もおいしくて、たくさんおかわりもしました。結果、僕の体重は3kg増えました！



温かく迎え入れてくれたホスト家族との団らん

## 世界のカレーを食べくらべ！

去る4月27日(日)、くすの木の家で協会の通常総会が開催され、議案の全ての承認をいただき無事終了しました。その後は、今回出席してくださった会員の皆さんと世界各国のカレーを食べくらべながらざっくばらんに語り合うことのできる「カレーなる総会」を開催しました。インド、タイ、ベトナムなど各国自慢のカレーの味の違いを楽しみながら親睦を深める機会として午後のひとときを過ごしました。

# 平成25年度協会の取組み

事業名	実施日	内容
平成25年度総会&国際交流セミナー	4月21日	平成25年度総会は全ての議案を承認いただきました。総会後は、国際交流セミナーとして、ボーカルグループであるパーマメントフィッシュのライブが開催されました。
こいのぼりづくりとホームステイ	5月25日～26日	JICA(国際協力機構)、名古屋芸術大学、岩倉総合高校よりゲスト(外国人)を招き、こいのぼりづくりや児童館の子どもたちとのふれあいを通じ、楽しくホームステイを行いました。
日本語ひろば岩倉10周年記念交流会	7月31日	日本語ひろば岩倉に携わってきた人たちの交流を、食事会や日本文化を体験するイベントを通じて行いました。 
ホームビジット	11月9日～10日	ホームビジット※を実施し、ゲストとホストファミリーが日本の文化や互いの国の風俗習慣を話し合い、相互理解を深めることができました。
クリスマスパーティー with デレック先生	12月21日	デレック先生おススメのアップルクラムブルを作ったり、ギター演奏に合わせてクリスマスソングを歌ったり、楽しいクリスマスパーティーになりました。 
アフリカ・ルワンダからの報告	1月26日	JICA(国際協力機構)の募集する国際協力レポーターとしてルワンダに派遣された当協会会員が、現地で見聞きしてきたことを報告しました。
ピナトゥボ活動助成事業	2月21日～3月31日	フィリピン・ピナトゥボ地域に大学生1名を派遣し、支援活動を実施しました。

※ホームビジット…宿泊を伴わない短期間の家庭訪問のことを言います。ホームステイよりも気楽に参加できるのが利点です。

◎世界のお惣菜を3回開催。

実施日	内容(作った料理)
7月13日	ペルー編。アロス・コン・マリスコス(ペルー風パエリア)ほか2点
11月3日	フィリピン編。テールスープほか2点
3月9日	ベトナム編。春巻ほか2点

## 平成26年度、27年度の協会役員を紹介します

会長：井上 隆義 理事長：内藤 和子 副理事長：安田 徹夫、杉浦 まゆみ 書記：竹安 誠

会計：大島 初美 監事：青木 崇佳、三浦 光俊

理事：出野 純代、伊藤 俊樹、井上 あさを、岩田 義文、大橋 まり子、岡部 節美、加藤 ゆり、  
神山 秀行、小林 利実子、櫻井 広子、千村 宜輝、渡部 正樹

## 世界のお惣菜～中国編

今回は中国料理を作ります。下記のとおり開催しますので、ふるってご参加ください

日 時：6月15日（日） 午前10時～午後2時

場 所：生涯学習センター料理室

講 師：山 青（さん せい）さん

持 ち 物：ふきん エプロン 筆記用具

定 員：20名

参 加 費：会員は無料です。（非会員：大人800円、子供400円）

申込方法：

6月13日（金）までに、出野（37-2495）または小林（090-5031-7332）までご連絡ください。



講師の山 青さん。娘の山 雨果さんと一緒

### ～講師からのメッセージ～

出身地は、中国南西部にある雲南省（四川の南に位置する高原地帯。ミャンマー、ベトナム、ラオスと国境を接する景勝地として有名。）です。現在は、妻の牛 瑜（ぎゅう ゆ）、娘の山 雨果（さん ゆごう）の3人家族で暮らしています。7年前、中国の大学で日本の企業の求人があり、それが縁で来日しました。日本の技術は優れており、自分のスキルアップのため日々精進しています。日本の印象は、「街がきれい」、「人が親切」、「物価が高い」、「横断するとき車が飛び出さずルールが守られているのにびっくり」。最初はとまどいながらも今は楽しく生活しています。好きな食べ物は、お寿司、親子丼、カツカレー（日本で最初に食べたもの）。いつか家族3人で沖縄へ出かけ、青い海を見るのが夢です。

## 特集 世界の遊びを紹介します vol. 3

今回はインドネシアの竹串を使った遊びである「BAMBE BELAH（バンブーブリーチ）」を紹介します。

用意するものはたった一つ！竹の棒です。日本では割り箸が最も身近な代用品です。ルールも簡単

- ①数名のグループを作り順番を決めます。
- ②代表者が一握みの竹串（割り箸だと25本くらい）を握って手を放します。
- ③重なり合った竹串が動かないように、ズレないように一本一本抜いていきます。
- ④竹串が動いたら、次の人に代わります。
- ⑤竹串がなくなった時点でゲーム終了。その時、一番多く竹串を持っていた人が勝ちです。



もうお気づきの人もいるかもしれませんが、さあ、竹串が動かないように抜けるかな！？日本の将棋くずしに似ていますね。割り箸があればできてしまう遊びなので、ぜひ学校で、ご家庭でお友達と遊んでみてください。

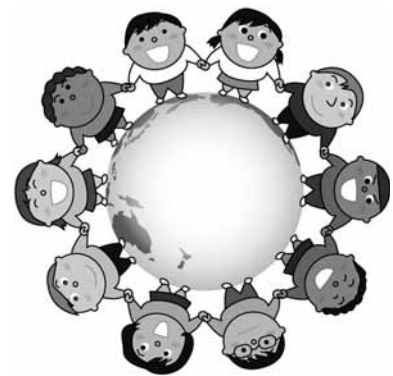
## 投稿求む!

COMに掲載する原稿を募集しています。内容はご自分やご家族の海外生活での体験談や海外の人との交流で感じたことなど、何でもかまいません。ただし、単なる紀行文や観光地の紹介はご遠慮ください。

【応募要領】 200字～800字程度 写真2～3枚程度を添付

【投稿方法】 投稿を希望される方は、伊藤 (080-3647-2529) までご連絡ください。

【その他】 編集段階で原稿を校正しますので、予めご承知おきください。



# 会員大募集!!

協会では、入会申込みの受付を随時行っています。ホームステイに興味がある人、多文化共生に興味がある人、海外の人たちに日本語を教えてみたい人、はたまた事業を裏から支える裏方をやりたい人……、「岩倉市で国際交流活動をしてみたい」であれば動機、目的は何でも構いません。私たちと一緒に活動してみませんか!?

### 会員の特典

- ① ホームステイの受入れが優先されます。
- ② 協会主催のイベントに無料で参加することができます。
- ③ イベントの立案・企画をすることができます。
- ④ 会報誌COMやリアルタイム(イベントなどをいち早くお知らせする案内はがき)などにより協会の情報を随時受けることができます。

## 会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。平成26年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。

新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡ください。

**会費振込先** いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300

口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

**会費** 1口1,000円とし、個人会員(家族会員)は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

**問合せ先** 内藤 (0587-66-7347) 出野 (0587-37-2495) 竹安 (090-1230-2444)

会報	COM第79号(2014年6月1日)	事務局	〒482-0021	岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)
発行	岩倉市国際交流協会			TEL・FAX 0587-66-7347
印刷	大橋印刷所			http://www.iies.info/